

### 3 事前事業評価に係る政策評価の結果の政策への反映状況

○評価書はこちら

- 1 多様な I o T サービスを創出する共通基盤技術の確立・実証
- 2 自律型モビリティシステム（自動走行技術、自動制御技術等）の開発・実証
- 3 無人航空機システムの周波数効率利用のための通信ネットワーク技術の研究開発
- 4 地上テレビジョン放送の高度化技術に関する研究開発
- 5 ニーズに合わせて通信容量や利用地域を柔軟に変更可能なハイスループット衛星通信システム技術の研究開発

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	多様な I o T サービスを創出する共通基盤技術の確立・実証	評価結果を踏まえ、「多様な I o T サービスを創出する共通基盤技術の確立・実証」として平成 28 年度概算要求(11.0 億円)を行った(平成 28 年度予算案額：3.5 億円)。
2	自律型モビリティシステム(自動走行技術、自動制御技術等)の開発・実証	評価結果を踏まえ、「自律型モビリティシステム(自動走行技術、自動制御技術等)の開発・実証」として平成 28 年度概算要求(17.5 億円)を行った(平成 28 年度予算案額：9.8 億円)。
3	無人航空機システムの周波数効率利用のための通信ネットワーク技術の研究開発	評価結果を踏まえ、「無人航空機システムの周波数効率利用のための通信ネットワーク技術の研究開発」として平成 28 年度概算要求(4.2 億円)を行った(平成 28 年度予算案額：4.0 億円)。
4	地上テレビジョン放送の高度化技術に関する研究開発	評価結果を踏まえ、「地上テレビジョン放送の高度化技術に関する研究開発」として平成 28 年度概算要求(4.6 億円)を行った(平成 28 年度予算案額：4.0 億円)。
5	ニーズに合わせて通信容量や利用地域を柔軟に変更可能なハイスループット衛星通信システム技術の研究開発	評価結果を踏まえ、「ニーズに合わせて通信容量や利用地域を柔軟に変更可能なハイスループット衛星通信システム技術の研究開発」として平成 28 年度概算要求(9.4 億円)を行った(平成 28 年度予算案額：8.3 億円)。